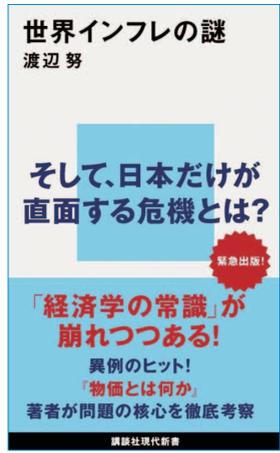


| | | |
|-------------|-----------------------|---------|
| グラビア | 地域を支える人 村岡耕平さん・秋田県仙北市 | 1 |
| 発掘!地域の希望のタネ | 〈ハントンライス〉石川県金沢市 | 5 |
| 給食のじかん | 〈シシリアンライス〉—沖縄県読谷村 | 翁長功二 6 |
| 書評 | 渡辺努 著『世界インフレの謎』 | 菅原敏夫 8 |
| 焦点 | 半田病院サイバー攻撃からの教訓 | 須藤龍也 10 |

特集 2023年統一自治体選挙を前に

| | | | |
|-----------|---|------|----|
| | コロナ禍後初の統一選への視点 | 廣瀬克哉 | 18 |
| | 統一自治体選挙にむけた性的指向・性自認に関する政策の位置づけと意義 —いわゆる宗教右派の影響をはかるリトマス試験紙として | 神谷悠一 | 28 |
| | 男女共同参画政策の現状と統一自治体選挙 | 大木直子 | 36 |
| | 人と自然が共生する持続可能なまちへ —SDGs 未来都市・新潟県妙高市の取り組み | 堀川政利 | 43 |
| | 手話推進議員連盟の活動 —聴覚障害者の人権問題としての手話 | 永野裕子 | 48 |
| 自治研活動レポート | 日本の等身大の姿を見つめるセミナー —高知県本部 | 中岡歩美 | 54 |
| 静岡自治研記録 | 全体会 記念講演録 脱成長でめざす、持続可能な社会 | 斎藤幸平 | 56 |
| | 自治体の雑誌案内 | | 16 |
| | 『月刊自治研』2022年総索引 | | 66 |
| | 次号予告・編集部から | | 72 |

『世界インフレの謎』
講談社現代新書 九九〇円
渡辺努 著



統一自治体選の政策課題
IT・SNS時代の統一自治体選準備は、はやく早まっている印象だ。もうすでに、のぼりやポスター（の写真や動画）が画面に氾濫している。しかし落ち着いて選挙にむけて大事な自治体政策課題を考えなければならぬ。秋の臨時国会での論戦が課題を際立たせる。四年前、二〇一八年秋の臨時国会、首相は安倍晋三。

テーマは防災、復興、外国籍労働者、社会保障、もちろん憲法改正、それに「デフレからの脱却、アベノミクスの実現だった。ところが今の臨時国会、最後のデフレのところがコロッと変わってしまった。インフレ、急激な物価の高騰。三〇年近く起きていなかった問題で、自治体政策としてなにをなすべきかの議論が、政府・自治体・市民それぞれに不足している。急いで本を探してみた。

インフレ対策

著者は日本銀行勤務の経験もある著名な経済学者。前著『物価とは何か』（講談社）で見た安定した分析力が魅力。現在の世界的インフレの原因は、ウクライナ戦争でもコロナパンデミックでもない。原因の謎を解く鍵は三つ。消費者の行動変容（サービスクラス消費からモノ消費へ）、労働者の行動変容（パンデミックが収まって職場に戻らない、シニアの早

期退職、女性の離職）、企業の供給力の隘路・グローバルゼーション見直し。さらに日本（にだけ）は稀な条件が付け加わって問題解決を難しくしている。それは急激なインフレと慢性的デフレの共存。物価の上昇は顕著に起こっているのに賃金は上昇しない。少子高齢化が言われ、人手不足なのに賃金は上昇せず（その名もズバリ『人手不足なのに賃金は上昇せず』が上がるのか）玄田有史編、慶應義塾大学出版会も参照されたい。

処方箋

実を言うと、書評子には『世界インフレ』『人手不足』双方の処方箋にほとんど同意できなかった。しかし考える枠組みは誠実で信頼できるものだった。あとは自分で考える、ということだろう。賃金を引き上げない彼等の仕組みを。

評者 菅原敏夫 本誌編集委員